

第40回 原子力関連学協会規格類協議会 議事録

1. 日時 平成27年3月12日（木）10:00～11:30
2. 場所 一般社団法人 日本電気協会 4階A, B会議室

3. 出席者(敬称略, 順不同)

出席委員：金子議長（日本機械学会 発電用設備規格委員会 委員長），関村（日本原子力学会 標準委員会 委員長，日本電気協会 原子力規格委員会 委員長），波木井（日本機械学会 発電用設備規格委員会 副委員長），宮口（日本機械学会 発電用設備規格委員会 幹事），新田（日本電気協会 原子力規格委員会 副委員長），越塚（日本電気協会 原子力規格委員会 幹事），宮野（日本原子力学会 標準委員会 フェロー委員），永田（日本機械学会 発電用設備規格委員会 原子力専門委員会 委員長）

常時参加者：伊藤（原子力安全推進協会），藤井（原子力規制庁）

代理出席：三浦（日本建築学会原子力建築運営委員会 北山代理）

オブザーバ：小山田（日本機械学会 発電用設備規格委員会），石出（日本溶接協会），船橋（火力原子力発電技術協会），大鳥（土木学会 原子力土木委員会），松澤（日本電機工業会），河井（日本原子力学会），成宮（日本原子力学会），西村（日本原子力学会）

日本機械学会 発電用設備規格委員会 事務局 高柳

日本原子力学会 標準委員会 事務局 中越

日本電気協会 原子力規格委員会 事務局 沖，田村

(23名)

4. 配付資料

資料 No. 40-1 第39回 原子力関連学協会規格類協議会 議事録（案）

資料 No. 40-2-1 学協会と原子力規制委員会の意見交換会の実施結果について

資料 No. 40-2-2 平成26年度原子力規制委員会 第56回会議議事録（抜粋）

資料 No. 40-2-3 学協会規格・基準など標準策定活動の意義と今後の取り組みについて

資料 No. 40-3 ご意見への回答について

資料 No. 40-4-1 JSME規格技術評価状況報告

資料 No. 40-4-2 JSME規格誤記対応状況について

資料 No. 40-5-1 日本原子力学会 標準委員会の2015年度活動計画の概要

資料 No. 40-5-2 原子力安全のための耐津波工学の体系化に関する調査委員会 報告会

資料 No. 40-6-1 第2回 日本電気協会原子力規格委員会シンポジウム（案）

資料 No. 40-6-2 JEAC4201「原子炉構造材の監視試験方法」（2013年追補版）の技術評価対応状況について

資料 No. 40-6-3 日本機械学会 設計・建設規格の誤りに関する対応について

資料 No. 40-7	原子力関連学協会規格類協議会 幹事会議事概要(案)
参考資料-1	原子力関連学協会規格類協議会 名簿
参考資料-2	原子力関連学協会規格類協議会 運営要綱
参考資料-3	日本機械学会 発電用設備規格委員会 制定規格
参考資料-4	一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会 標準の策定と技術評価に関する状況
参考資料-5	日本電気協会 原子力規格委員会 策定規格

5.報告事項

(1) 委員変更及びオブザーバ出席の紹介

事務局より、委員変更、代理出席者及びオブザーバ出席者の紹介があった。

(2) 前回議事録確認

事務局より、資料 No. 40-1 に基づき、前回議事録(案)について紹介があり、原案通り承認された。

(3) 報告事項

1) 学協会と原子力規制委員会の意見交換会の実施結果について

事務局より、資料 No. 40-2-1～2-3 に基づき、平成 27 年 2 月 12 日の第 56 回規制委員会で実施された、3 学協会と原子力規制委員会の意見交換会の実施状況について報告があった。主な質疑、コメントは以下のとおり。

- ・参加しての印象になるが、原子力規制委員会は好意的であり、それに対して学協会側も答えていかないといけない。
- ・社会からの批判への対応について、更田委員から、原子力学会の別の場でも意見があった。学協会はコンセンサスベースで規格を作っていくが、一方で多面的な見方があり、当然、少数意見があるので、それらをどのように規格に取り込んでいくか。マイナーな意見とマジョリティをどう調整していくか。資料では表面的な内容にとどまっているが、掘り下げて議論する必要があり、継続的に検討していきたい。また、規制委員会との意見交換についても継続して実施するようにしたい。

2) 原子力関連学協会規格類協議会への問い合わせについて

事務局より、資料 No. 40-3 に基づき、外部から原子力関連学協会規格類協議会へのご意見とその回答について報告があった。規格類協議会では外部からの意見への対応について扱いを定めていないため、幹事会においてご意見への対応を検討した。主な質疑、コメントは以下のとおり。

- ・「各学協会が責任を持って対応することといたしますが、原子力関連学協会規格類協議会におきましても・・・」の記載について、一旦区切ること。

→ 拝承

3)各学協会からの報告

各学協会から、以下のとおり、各学協会の活動状況の報告があった。

i)日本機械学会

日本機械学会より、資料 No. 40-4-1 及び 4-2 に基づき、JSME 規格誤記対応状況及び JSME 規格技術評価対応状況について報告があった。主な質疑・コメントは以下のとおり。

- ・年版の考え方について、古い規格の年版を認めるのは論理的に破たんしないか。規格は新知見を基に改定を実施しているため、古い考えを活かすとなると、最新の知見とならない。原則として前のものは使わない、としないといけない。
- 技術評価において、ある部分に条件が付くことがあり、一部は古い年版を使うことでエンドースされる場合がある。我々としてしっかりと考え方を整理しないといけない。保安院の時に、JEAC4201 の技術評価において、2007 年版ではなく 2004 年版を使うことが決められたことがあった。部分的に古い年版を使用することは現場が混乱するのではないか。規制側には表現の仕方を考えてほしいが、我々としても、改定の考え方について議論すべき。
- 機械学会でも議論している。基本は最新版を適用するものと考えてるが、2 つの年版の規格がエンドースされている理由は、例えば、設備改造への適用など全て変えると混乱するため、時間的な裕度が必要なためと考えている。
- 部分部分で年版を変えて適用してはいけないのではないか。設計・建設規格特有の考え方か。
- 新規制対応や耐震対応で多くの改造を実施しているため、混乱しないようの特例的なものと考えている。
- ・規制庁は申請があった時点での法令要求への適合を見るため、判断基準は 1 つである必要がある。それに対して規格は、メンテナンスは新しいものが基本であるが、設計や建設において当時の規格は有効であると考えてる。機械学会において、設計に関する規格の改定で、フィードバックが必要かの意思表示をすべきか等の議論をしている。
- 古い規格の考え方を引きずっているのはわかるが、バックフィットの考え方を明確にしないといけない。古い規格でどこを変えるのか、この部分はバックフィットする必要がある等、明確にしないといけない。
- ・設計・建設規格だけではなく JEAC4601 耐震設計規程等においても重要な話。規格類協議会では、機械学会からの報告だけではなく 3 学協会で考える必要があり、3 学協会で論点を整理しないといけない。幹事会において検討を実施すること。
- ・JSME 規格の誤記対応について、正誤表を審議した後のアクションとして、規制委員会への報告と、機械学会 HP への正誤表掲載があるが、どのようなタイミングで実施しているか。
- 同じ時期に実施している。今回の手順をひな形にしてフローとしてまとめたい。

ii)日本原子力学会

日本原子力学会より、資料 No. 40-5-1 及び 5-2 に基づき、標準委員会の 2015 年度活動計画の概要報告及び原子力安全のための耐津波工学の体系化に関する調査委員会報告会開催の報告があった。主な質疑・コメントは以下のとおり。

- ・規格の英文化にあたり、英文化した規格は日本語版と同じ扱い又は英訳したのみのどちらの扱いか。また、全部の規格を英文化する予定か。
- 日本語版が正であり、英訳したのみの扱い。全部ではなく優先度を決めて実施したい。

iii) 日本電気協会

日本電気協会より、資料No. 40-6-1～6-3に基づき、第2回原子力規格委員会シンポジウム開催、JEAC4201「原子炉構造材の監視試験方法」（2013年追補版）の技術評価対応状況及び誤記対応状況の報告があった。主な質疑・コメントは以下のとおり。

- ・シンポジウムを6月4日に開催することで決定。未定の部分もあるが、規制委員会、電中研原子力リスク研究センター所長のApostolakis氏等の参加を予定している（同時通訳あり）。ぜひ参加をお願いしたい。
- ・各学協会からの報告について、誤記対応、技術評価対応等、3学協会で共通で実施している事項がある。報告もまとめて実施した方が良い。

→拝承

4) 協議会幹事会からの報告

事務局より、資料No. 40-7に基づいて、原子力関連学協会規格類協議会 幹事会議事概要についての報告があった。主な質疑・コメントは特になし。

6. その他

- ・次回の協議会開催日時は、平成27年6月11日(木) 10:00からとした。
- ・規格類協議会の運営要綱、名簿等に、原子力学会フェロー、機械学会アドバイザーを追加すること。また、外部からの問い合わせに対する対応の仕方を定めることとした。

以上